

障害者等のデジタル活用を支援する 人材の育成と啓発活動

デジタルによる製品やサービスが利用できなくて困ること、あきらめること、ありませんか？
デジタルに強い人が身近に居ると助かりますよね。でも、どこに行けば出会えるのでしょうか？



誰もが気軽にデジタルの恩恵が受けられる環境をつくるために

デジタルアクセシビリティアドバイザー

(Digital Accessibility Advisor : 略称 DAA)

を育成し身近な存在にしていきます！

DAA認定者は、さまざまな分野で活躍します！！

- ・ 情報通信分野では、家電量販店等の接客スタッフやIT企業の開発研究スタッフ
- ・ 就労分野では、ジョブコーチや一般企業の人事/総務/雇用担当者
- ・ 教育分野では、特別支援教育担当の教職員や研究職員
- ・ 医療分野では、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師
- ・ 福祉分野では、福祉士、介護士、福祉用具専門相談員、ケアマネージャー、ヘルパーなど

デジタル庁のデジタル推進委員としても任命されます。



あなたもデジタル アクセシビリティ アドバイザーになりませんか？



一般社団法人日本支援技術協会
124-0012 東京都葛飾区立石7-7-9
<https://www.jatc.jp/>



この事業は日本財団の助成を受けて実施しています。

デジタルアクセシビリティアドバイザー



■ 公式テキスト

本テキストはデジタルアクセシビリティアドバイザー認定試験の公式の受験対策書籍ですが、ご自身のスキルを磨いたり、これまで蓄積してきたご自身のスキルを整理したりするだけでなく、目の前にいる人に多様なデジタルサービスをコーディネートする現場での提案や対策に役立てることもできます。



概要：(Basicレベル編)
Basicレベル編では、障害を理解し自分事として捉え、社会を見つめ、テクノロジーを知り、デジタルアクセシビリティについての基礎的な事柄を学ぶことができます。
あなたの大切な人や目の前で困っている人に、必要な支援をアドバイスし、それらをコーディネートして提供するスキルを身につけるための学びです。



概要：(Standardレベル編)
Standardレベル編では、教育や医療や福祉の現場で業務としてさまざまな障害のある人にデジタル製品等をコーディネートしサポートするためのスキルを学習します。
困難別の支援技術、環境と衛生、情報アクセシビリティ、作業療法士による支援技術の実例を掲載しています。

第1章：障害を理解する
第2章：テクノロジーを理解する
第3章：OS標準のアクセシビリティを理解する

第4章：困難別の支援技術
第5章：安心安全で快適な環境を作るために
第6章：作業療法士による支援技術の実践例

公式テキストをダイジェスト的に学べるビデオ教材を、コミュニティで視聴することができます。コミュニティへは、受験前でも無料で参加できます。詳しくはQRコードからWebへお進みください。

■ 認定試験

試験範囲

- 試験問題は公式テキストからの出題を基本としています。
- ただし、数問については一般常識や時事問題についても出題されます。これは、法律等の改正やOSのアップデートを含め社会の移り変わりは加速しておりますので、ご自身で調べて知識をアップデートしサポートに活かしていく姿勢がデジタルアクセシビリティアドバイザーには求められているためです。
- Standardレベルの試験は、Basicレベルの試験範囲も含みます。したがって、Basicレベルを飛ばして受験することも可能です。

受験資格・受験方法

- 年齢、学歴、国籍等に関係なく、どなたでも受験できます。
- オデッセイコミュニケーションズが運営するCBT方式にて試験をおこないます。
(「CBT」とは、「Computer Based Testing」の略称で、コンピューターを使用した試験方式です。コンピューターのディスプレイに問題が表示され、マウスやキーボードを使い選択肢を選んで解答します。)

受験料

- Basicレベル：5,500円／Standardレベル：7,700円(いずれも税込)

受験場所

- オデッセイコミュニケーションズが運営、契約する全国のテストセンターから都合の良い場所を選択

認定証

合格者にはデジタル認定証(オープンバッジ)を授与いたします。

